

香川県農業負債整理関係資金基本要綱

平成 14 年 10 月 22 日 14 農経第 17990 号
最終改正 令和 6 年 3 月 26 日 5 農政第 268151 号

第 1 趣旨

本要綱は、食料・農業・農村基本法（平成 11 年法律第 106 号）の目指す効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、経営意欲と能力を有しながら、経済環境の変化等により、負債の償還が困難となっている農業者に対して、個々の経営の実情に応じて行う、その償還負担の軽減を図るためのきめ細かな資金の融通について定めるものである。

第 2 対象資金等

1 本要綱の対象とする資金は、次の 2 資金とし、融資機関は、農業者の経営の実情、資金需要等を踏まえて適切な資金を融通するものとする。

- (1) 経営体育成強化資金（経営体育成強化資金実施要綱（平成 13 年 5 月 1 日付け 13 経営第 303 号農林水産事務次官依命通知）第 2 のⅡに定める資金
- (2) 農業経営負担軽減支援資金（農林水産省経営局長が別に定める農業経営負担軽減支援資金をいう。以下同じ。）

2 本要綱の対象とする資金の役割分担等は、次のとおりとする。

- (1) 農業者が経営体育成強化資金及び農業経営負担軽減支援資金を活用して負債の償還負担を軽減しようとする際には、農業経営負担軽減支援資金で対応できる場合は、極力当該資金で対応し、当該資金で対応することが困難な場合には、経営体育成強化資金で対応することを基本とする。

なお、農業経営負担軽減支援資金と経営体育成強化資金を同時に利用する場合については、取扱融資機関が密接に協議・連携を図るものとする。

- (2) (1) にかかわらず、経営体育成強化資金実施要綱第 2 のⅡの 1 の (1) の資金（以下「再建整備資金」という。）については、農業経営負担軽減支援資金で対応することが困難な場合に、対応するものとする。
- (3) 第 3 の 1 の (4) のアの融資機関は、再建整備資金で対応しようとする場合には、農業経営負担軽減支援資金で対応することが困難である旨を第 3 の 1 の (4) のイの融資機関のいずれかに確認するとともに、確認したことを証する書類を整備しておくものとする。

第 3 借入希望者の手続等

本要綱の対象とする資金の融通については、それぞれの資金の要綱において定めるもののほか、各資金共通の融資を受けようとする者（以下「借入希望者」という。）の手続等は次に定めるところによるものとする。

1 経営改善計画書の作成等

(1) 借入希望者は、

ア これまでの経営状況はどうなっているのか

イ 経営の改善を図るために、どの点をどのように改善していくのか

ウ 経営改善計画は実行可能か

エ 経営改善計画が実行された場合に収支はどうか、融資返済は可能か

等について、自ら真剣に検討の上、経営改善の実施と資金の借入れによって、おおむね5年程度の間確実に経営を軌道に乗せ、安定させることを旨とする経営改善計画書を別紙1の(2)又は(3)により作成し、別紙2による借入申込書（香川県農業信用基金協会（以下「基金協会」という。）による保証を希望する場合は、更に債務保証委託申込書が必要）とともに、(4)に定める融資機関に提出するものとする。

なお、新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）である感染症をいう。以下同じ。）により経営に影響が発生している等の借入希望者（以下「被災借入希望者」という。）にあっては、別紙1の(4)又は(5)の経営改善計画書をもって別紙1の(2)又は(3)の経営改善計画書に代えることができるものとする。

(2) 借入希望者は、経営改善計画書の作成に当たり、助言指導を必要とする場合は、融資機関、農業改良普及センター（以下「普及センター」という。）、市町、担い手育成総合支援協議会等に相談を求めることができるものとする。

(3) 借入希望者が、飼養衛生管理基準（家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第12条の3に規定する飼養衛生管理基準をいう。以下同じ。）に定められた家畜のうち豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥を飼養する事業を営む者である場合は、県から飼養衛生管理基準の遵守状況の確認書類の交付を受け、この確認書類を経営改善計画書に併せて提出するものとする。

(4) 各資金の融資機関は、次のとおりとする

ア 経営体育成強化資金

株式会社日本政策金融公庫及び同公庫の受託金融機関となっている農業協同組合、香川県信用農業協同組合連合会、農林中央金庫、銀行、信用金庫及び信用協同組合

イ 農業経営負担軽減支援資金

県と利子補給契約を締結している農業協同組合、香川県信用農業協同組合連合会、農林中央金庫、銀行、信用金庫及び信用協同組合

2 融資審査

(1) 融資機関は、経営改善計画書及び借入申込書（以下「関係書類」という。）について、借入希望者の経営能力及びそれを反映する経営状況を基に、別紙3の融資審査の考え方を参考として、

ア 経営改善計画に示された方向（改善点）で、本当に経営が改善されるのか

イ 借入希望者の経営能力等からみて、経営改善計画は実行可能なのか

ウ 経営改善計画が実行されれば、どの程度収益が改善し、その結果、融資の返済も可能となるのか

エ 当該作目の被災、価格変動等のリスクに対して、農業共済又は収入保険（農業保険法（昭和 22 年法律第 185 号）に基づく共済事業及び農業経営収入保険事業をいう。）に加入するなどの対応策は検討されているか

を責任を持って判断するものとする。

- (2) 融資機関は、(1) の判断に際して、借入希望者の既往負債の融資機関と協議（償還条件の緩和をどの程度行うことができるかを含む。）するとともに、必要がある場合には、借入希望者の経営能力等に関し、関係機関の意見を聴くものとする。
- (3) 融資機関は、借入希望者の経営能力等からみて、経営改善計画の達成可能性・融資返済の可能性に疑問がある場合には、借入希望者に対し、1 年間普及センター等の指導を受けて経営能力の向上に努めるよう求め（この間、関係融資機関の合意が得られれば、償還条件の緩和を行う。）、1 年後に再度判断を行うものとする。

3 債権保全措置

- (1) 債権保全措置については、融資機関（必要に応じて融資機関及び基金協会）と借入希望者の協議により、物的担保又は基金協会による保証のいずれかとするを基本とし、経営者以外の第三者の個人連帯保証については、徴求しないことを原則とする。また、経営者保証については、「経営者保証に関するガイドライン」（平成 25 年 12 月 5 日「経営者保証に関するガイドライン研究会」から公表）を踏まえ、適切に行われるよう留意するものとする。
- (2) 担保物件の評価に当たっては、画一的な評価を行わず、近隣の類似物件の売買価格等を勘案して、適切に行うものとする。
- (3) 以上のような債権保全措置では融資額全額をカバーできない場合であっても、借入希望者の経営能力等からみて経営改善計画の達成及び融資返済が確実と考えられる場合には、融資を行う（必要に応じて融資額を調整することがありうる。）ことを基本とする。

また、融資機関は、借入希望者の経営能力等からみて、融資を行うことが困難であると判断した場合には、当該借入希望者に対し、1 年間普及センター等の指導を受けて、経営能力の向上に努めるよう求め（この間、関係融資機関の合意が得られれば、償還条件の緩和を行う。）、1 年後に再度判断を行うものとする。

第 4 融資機関の手続等

1 融資機関の手続

- (1) 借入希望者から関係書類の提出を受けた第 3 の 1 の (4) で定めるア又はイの融資機関は、必要に応じ、同 (4) に規定する他の融資機関に当該関係書類又はその写しを送付し、連携して手続を進めるものとする。
- (2) 融資機関は、別紙 1 の (1) の経営改善計画総括表を作成して、別紙 1 の経営改善計画書を 2 の (1) の経営診断の実施機関に送付し、意見を求めるものとする。

なお、被災借入希望者等の審査にあたっては、経営診断の実施機関からの委任を受けて融資機関自ら経営診断を行うことができるものとする。

- (3) 融資機関は、基金協会による保証を必要とする場合は、速やかにその手続を進めるものとする。
- (4) 融資機関は、農業経営負担軽減支援資金の融資を行おうとする場合には、速やかに香川県農業経営負担軽減支援資金実施事務処理要領に定める利子補給承認の手続を進めるものとする。
- (5) 融資機関は、借入希望者の借入申込書等の提出から1月半以内にすべての手続を終了させるよう努めるものとし、それまでの間に手続が終了しない場合には、借入希望者にその理由を通知するものとする。
- (6) 融資機関は、融資を行わないときは、別紙1の経営改善計画総括表により、借入希望者に対してその理由を説明するものとする。

2 経営診断手続

- (1) 本要綱の対象とする資金の貸付けに係る経営診断の実施機関は、香川県農業制度資金審査委員会とする。
- (2) 香川県農業制度資金審査委員会は、1の(2)により、融資機関から意見を求められた場合、別紙1の経営改善計画総括表に必要事項を記入して回答するものとする。

3 融資実行後の措置

- (1) 融資を実行する場合には、融資機関は、借入者ごとに担当を決め、借入者の経営改善が着実に行われるよう配慮するものとする。
- (2) 借入者は、経営改善計画期間中、経営改善計画が達成されるまでの間、毎年、別紙4により、経営状況を融資機関に報告するものとする。

ただし、新型コロナウイルス感染症により経営に影響が発生した借入者にあつては、決算書類を融資機関に提出することをもって、別紙4により経営状況を報告したものとみなすことができるものとする。
- (3) 融資機関は、(2)の報告を踏まえて、必要がある場合には、関係機関に借入者に対する指導等の協力を求めるものとする。
- (4) 関係機関は、経営改善計画が早期に達成されるよう適時適切な指導に努めるものとする。

4 民事再生手続との関係

- (1) 借入希望者が、負債の償還負担軽減と併せて、民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく民事再生手続を進めようとする場合には、融資機関は、他の債権者と連絡を密にして再生計画の実行可能性を適切に判断するものとする。
- (2) なお、再生計画に基づいて債務の縮減を行った上で、当該債務について本要綱で定める資金の対象とすることは、可能である。

第5 その他

- 1 融資の運用に当たって、関係機関は、借入希望者に無用の心理的負担がかかることのないよう配慮するものとする。
- 2 融資機関、県、普及センターその他の関係機関(機関の役職員を含む。)は、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)その他の法令の個人情報の保護に関する規定を遵守するとともに、本要綱対象資金に係る経営改善計画書等の個人情報について厳正に取り扱うものとする。特に、この要綱において借入希望者の個人情報を含む情報を他に提供するものとされた手続については、借入希望者の同意を得た範囲内において行うものとする。
- 3 融資機関は、借入希望者から関係書類の提出を受けた場合、借入希望者に対し、第4の1の規定により関係書類を関係機関へ送付することがある旨についての同意を求めるものとし、借入申込書の個人情報の取扱いに関する同意書(別紙2の裏面)の確認欄に記名を求めることとする。

附 則

- 1 この要綱は、平成14年10月22日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、平成16年5月11日から施行する。
- 2 この要綱の改正後の規定は、平成16年4月1日以降適用し、同日前の適用については、なお従前の例による。

附 則

この要綱は、平成17年5月25日から施行し、平成17年4月20日から適用する。

附 則

この要綱は、平成19年5月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成20年4月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年10月17日から施行し、平成20年10月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成20年12月25日から施行し、平成20年12月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成24年5月1日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成26年4月10日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、令和2年12月11日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年3月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年7月1日から施行し、令和4年6月1日から適用する。

附 則

この要綱は、令和6年3月26日から施行する。

経営改善計画総括表

・融資機関が記載

農業負債整理関係資金借入申込者 氏名

		融資機関記載欄	経営診断機関記載欄
1	これまでの経営状況はどうなっているのか		
1 経営者の能力	経営マインド		
	技術レベル		
	単収		
	品質・単価		
	規模		
	コスト		
	家計費		
	etc		
	(2)経営上の問題点		
	(3)負債償還に支障を来した原因		
2	経営の改善を図るためにどの点をどのように改善していくのか		
3	経営改善計画は実行可能か		
4	計画が実行された場合に収益はどうか、融資返済は可能か		

融資機関の判断

融資機関が経営改善計画に基づき判断した結果を記載
(資金借入希望者に通知)

別紙1の(2)

添付書類で当該経営改善計画書記載事項が把握可能である場合には、その旨を記載すれば足りる。

経営改善計画書(個人)

〇〇〇〇 農業協同組合

株式会社日本政策金融公庫

} 等 御中

住所

氏名

年 月 日

1 計画期間 年度～ 年度

2 家族構成等

家族従事者(※農業後継者は、備考欄にその旨を記入)				
年齢	農業従事 日数	農外従事 日数	目標年の状況	備考
その他の家族(性別、年齢のみ) 男女(歳)、男女(歳)、男女(歳)、男女(歳)				

常時雇用 人

臨時雇用 人

3 経営規模

田 (うち借地)	a	(a)
畑 (うち借地)	a	(a)
樹園地 (うち借地)	a	(a)
採草放牧地 (うち借地)	a	(a)
施設面積	棟	m ²
常時飼養家畜	種類	頭、羽

(添付書類)最近3か年の青色申告書、農協の組合員勘定等

1. これまでの経営状況はどうなっているのか(経営実績)

(金額単位:千円)

(1)経営者の能力、経営力を背景とした生産、損益、資金繰り実績

			3年前	2年前	前年				3年前	2年前	前年
農業収入											
(記入例) 水稲	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由					
(記入例) だいこん	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由					
(記入例) りんご	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由					
(記入例) ...	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由					
(記入例) ...	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由					
収入保険の加入の有無			有	無							
その他()			0	0	0						
農業経営費											
原材料費											
施設・機械費											
出荷販売経費											
雇用労賃											
支払利息											
支払地代											
その他											
農業所得											
農外所得											
年金被贈等											
農家総所得											
家計費											
租税公課											
償還財源											
償還金(元本)											
差引余剰											
施設・機械等の設備投資											
農業負債(短期)											
農業負債(長期)											
農外負債											
計											

農業収入には、制度受取金等(農業共済、産地づくり交付金、販売数量に応じて支払われる各種経営安定対策等の農業経営に関する受取金)を含む。

主要な作目別に記載(加工・販売、農作業受託等も記載)

農機具、修繕費等、単年度の費用として計上するもの

農業関係に係る借入金の利息

農業関係の借入金の元本 + 農外事業関係の借入金の元本

固定資産として計上し、単年度の費用としては計上しないもの

(注)変動理由は災害、病害等簡潔に記載。

前年の農家総所得A	千円
前年の農業所得B	千円
B/A	%

農外事業関係に係る借入金の利息を含む

→ (事業収入、給与、受取小作料、受取利息等) - 農外支出
→ 年金、祝金等

→ 農家総所得 + 減価償却費 - 家計費 - 租税公課

(2)経営力を背景とした財務内容(資産負債バランス)

項目	金額	算出基礎
資産計		
預金(共済等の積立金)		
農協等に対する出資金		
土地		
建物		
家畜		
農機・その他		
負債計		
農業負債(短期)		
農業負債(長期)		
農外負債		
その他		
正味資産		
保証債務		

算出基礎は妥当か(近傍類似価格、家畜相場等)

資産 - 負債

保証人になっている額

(3)経営上の特徴及び問題点は何か

項目	特徴及び問題点
技術レベル	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・経営上の特徴、工夫していること ・本人が経営上の課題を主体的に把握しているか ・経営マインドはあるか </div>
単収	
品質・単価	
経営規模	
コスト	
販売方法	
家計費	
その他	

(注)各項目に、具体的内容をご記入下さい。

なお、自然災害、価格動向の変動等(リスク)への備えに関する課題がある場合は、「その他」欄へご記入下さい。

(4)負債償還に支障を来した原因は何か

2. 経営の改善を図るために、どの点をどのように改善していくのか／それは実行可能か

(1)経営改善を図るための方策(1の(3)の経営上の問題点を踏まえ、その改善方策を具体的に記載)

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>農業経営改善を図るための方策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営改善を図るための具体的方策 ・販売高の引上げ(単収アップ、単価アップ、規模拡大)、生産コストの削減、生活費の </div>

(2)経営改善計画の算出基礎
(耕種)

作目	実績		目標	
	単収	単価	単収	単価

収益予想の算出基礎となっている単収単価等は無理のないものか

営農類型によって項目を変える
(耕種以外は別紙の該当項目を
参考に)

・目標値は経営者の能力から見て達成できるかをよく考えて記入

(3)前向き投資の内容と資金調達

投資時期	投資内容	事業費	新設/更新	借入時期	借入先	資金名	金額	償還(据置)
計								

過大投資になっていないかをよ

(注) 農業経営負担軽減支援資金を借り入れる場合は、経営改善計画を的確に実施する観点から、その達成上不可欠な投資以外は極力行わないこと。

(4)整理しようとする負債の内容

借入先	資金名	金額	利率	償還(据置)
計				

(5)現在の融資先が行っている又は行おうとしている条件緩和の内容

借入先	資金名	金額	利率	条件緩和の内容

3. 計画が実行された場合に収益はどうなるか、融資返済は可能か

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	10年目
農業収入	記入例						
	水 稲	経営規模 生産量 売上高					
		経営規模 生産量 売上高					
		経営規模 生産量 売上高					
		経営規模 生産量 売上高					
		経営規模 生産量 売上高					
その他()							
農業経営費	原材料費						
	施設・機械費						
	うち減価償却費						
	出荷販売経費						
	雇用労賃						
	支払利息						
	支払地代 その他						
農業所得							
農外所得							
年金被贈等							
農家総所得							
家計費							
租税公課							
償還財源							
償還金(元本)							
差引余剰							
施設・機械等の設備投資							
農業負債(短期)							
農業負債(長期)							
農外負債							
計							

参考(前々項の2(2)をご記入されるに当たり、耕種以外の営農類型の方はここにご記入ください。)
(酪農)

区分	単位	実績	目標	改善のための具体的方策	
経産牛1頭当り乳量	kg/頭				
乳価	円/kg				
乳飼比	%				
濃厚飼料総給与量	t/年				
濃厚飼料平均価格	円/kg				
粗飼料総給与量	t/年				

(肉用牛)

品種(該当品種に○)		和牛、F1		乳用種、和牛、F1		改善のための具体的方策
区分	単位	実績	目標	実績	目標	
素牛	導入頭数	頭/年				
	導入月齢	か月				
	導入価格	千円/頭				
販売牛	販売月齢	か月				
	販売体重	kg/頭				
	販売価格	千円/頭				
枝肉ランク	%	A4以上	A4以上	B2以上	B2以上	
濃厚飼料総給与量	t/年					
濃厚飼料平均価格	円/kg					
粗飼料総給与量	t/年					

(養豚)

区分	単位	実績		目標		改善のための具体的方策
種豚の品種		♂	♀	♂	♀	
母豚1頭当り年間産子数	頭/年					
母豚平均分娩回数	回/年					
販売子豚	出荷日令	日				
	出荷体重	kg				
肥育豚	出荷日令	日				
	出荷体重	kg				
上物率	%					
肥育豚販売手数料	円/頭					
飼料総給与量	t					
飼料要求率						

(採卵鶏)

区分	単位	実績		目標		改善のための具体的方策
鶏種		♂	♀	♂	♀	
導入ヒナ	日令	日				
	価格	円/羽				
年間導入羽数	千羽					
育成率	%					
淘汰方法						
産卵期間	か月					
飼料総給与量	t					
飼料要求率						
G.P.経費	円/kg					

(ブロイラー)

区分	単位	実績	目標	改善のための具体的方策
鶏種				
ヒナ購入価格	円/羽			
鶏舎延坪数	坪			
坪当たり常時飼養羽数	羽/坪			
餌付回数	回/年			
餌付羽数	千羽/年			
育成率	%			
出荷日令	日			
出荷体重	kg/羽			
飼料総給与量	t			
飼料要求率				

(別表)負債整理計画

【負債整理前】

区分	資金名	No.	当初借入額	借入年月	最終年月	償還方法	残高	金利	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目							
									元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息		
農業短期計																																		
農業長期計		1																																
		2																																
		3																																
		4																																
		5																																
		6																																
		7																																
		8																																
		9																																
		10																																
農業外計																																		
総計A																																		

融資機関が借入者から聞取りし、作成する。

【負債整理後】

区分	資金名	借入年月	最終年月	償還方法	残高	金利	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		備考		
							元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息			
農業短期計																													
農業長期計																													
農業外計																													
総計B																													
【差引軽減額】																													
総計A－総計B																													

注1 「整理番号」欄は、負債整理前と負債整理後を照合するための整理番号であり、借入債務(証書等)毎に整理すること。
 2 負債整理後については、農業経営負担軽減支援資金、経営体育成強化資金の「備考」欄に、負債整理の対象とした負債整理前の資金の整理番号を記入する。

別紙1の(3)

添付書類で当該経営改善計画書記載事項が把握可能である場合には、その旨を記載すれば足りる。

経営改善計画書(法人)

〇〇〇〇 農業協同組合 }
株式会社日本政策金融公庫 } 等 御中

住所

法人名・代表者

年 月 日

1 計画期間 年度～ 年度

2 法人の概要

設立年月 年 月

資本金 千円

構成員氏名	年齢	役職 担当	法人従事 日数	出資 口数	目標年の状況

構成戸数 戸

常時雇用 人

臨時雇用 人

3 経営規模

田 (うち借地)	a (a)
畑 (うち借地)	a (a)
樹園地 (うち借地)	a (a)
採草放牧地 (うち借地)	a (a)
施設面積	棟 m ²
常時飼養家畜	種類 頭、羽

(添付書類)最近3か年の決算書(付属明細書を含む)

1. これまでの経営状況はどうなっているのか(経営実績)

(金額単位:千円)

(1)経営者の能力、経営力を背景とした生産、損益、資金繰り実績

			3年前	2年前	前年				
売上							3年前	2年前	前年
(記入例) 水稲	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	生産量 売上高				単収 単価 変動理由			
(記入例) だいこん	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由			
(記入例) りんご	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由			
(記入例) ...	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由			
(記入例) ...	共済加入の有無 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	経営規模 生産量 売上高				単収 単価 変動理由			
収入保険の加入の有無			有・無	—	—				
その他()									
売上原価									
期首商製品棚卸高									
当期商品仕入高									
当期製品製造原価									
			材料費						
			労務費						
			賃借料						
			その他経費 (減価償却)						
期末商製品棚卸高									
売上総利益									
販売費・一般管理費									
役員報酬									
その他人件費									
出荷販売経費									
減価償却費									
営業利益									
営業外利益									
営業外費用									
支払利息									
経常利益									
税引前当期利益									
法人税等充当額									
税引後当期利益									
償還財源									
償還金(元本)									
差引余剰									
施設・機械等の設備投資									
農業負債(短期)									
農業負債(長期)									
農外負債									
計									

農業に係る売上高には、①自ら行う農業に関連する事業であって農畜産物を原材料とする製造、加工等の事業の他に②販売数量に応じて支払われる各種経営安定対策も含む。

主要な作目別に記載
(加工・販売、農作業受)

単収で技術レベルを判断

単価(品質)で技術レベルを判断

(注)変動理由は災害、病害等簡潔に記載。

法人の前年売上高	A	千円
農業に係る前年の売上高	B	千円
	B / A	%

農業関係に係る借入金の利息+農外事業関係に係る借入金の利息

農業関係の借入金の元本+農外事業関係の借入金の元本

税引後当期利益+減価償却費-償還金

固定資産として計上し、単年度の費用としては計上し

(2)経営力を背景とした財務内容(資産負債バランス)

項目	金額	主な勘定内訳
流動資産		預貯金()、売掛金()、受取手形()、棚卸()
固定資産		土地()、建物()
繰延資産		
資産合計		
流動負債		短期借入金()、買掛金()、支払手形()
固定負債		長期借入金()
資本		資本金()
保証債務		第三者のために保証人になっている額及びその明細

千円

参考: 法人の構成員が当該法人に貸与している土地の価格の合計額

(3)経営上の特徴及び問題点は何か

(営農類型：)

項目	問題点
技術レベル	
単収	
品質・単価	<ul style="list-style-type: none"> ・経営上の特徴、工夫していること ・代表者が経営上の課題を主体的に把握しているか ・経営マインドはあるか
経営規模	
コスト	
生産方式	
販売方法	
加工流通	
その他	

(注)各項目に、具体的内容をご記入下さい。

なお、自然災害、価格動向の変動等(リスク)への備えに関する課題がある場合は、「その他」欄へご記入下さい。

(4)負債償還に支障を来した原因は何か

2. 経営の改善を図るために、どの点をどのように改善していくのか／それは実行可能か

(1)経営改善を図るための方策(1の(3)の経営上の問題点を踏まえ、その改善方策を具体的に記載)

<p>農業経営改善を図るための方策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営改善を図るための具体的方策 ・販売高の引上げ(単収アップ、単価アップ、規模拡大)、生産コストの削減等

(2)経営改善計画の算出基礎

(耕種)

作目	実績		目標	
	単収	単価	単収	単価

収益予想の算出基礎となっている単収単価等は無理のないものか
(1)の対策との整合性が取れているか

営農類型によって項目を変える
(耕種以外は別紙の該当項目を参考に)

・目標値は経営者の能力から見て達成できるかをよく考えて記入

(3)前向き投資の内容と資金調達

投資時期	投資内容	事業費	新設/更新	借入時期	借入先	資金名	金額	償還(据置)
計								

(注) 農業経営負担軽減支援資金を借り入れる場合は、経営改善計画を的確に実施する観点から、その達成上不可欠な投資以外は極力行わないこと。

(4)整理しようとする負債の内容

借入先	資金名	金額	利率	償還(据置)
計				

(5)現在の融資先が行っている又は行おうとしている条件緩和の内容

借入先	資金名	金額	利率	条件緩和の内容

3. 計画が実行された場合に収益はどうなるか、融資返済は可能か

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	10年目
売上	記入例						
	水						
	稲						
	経営規模						
	生産量						
	売上高						
	経営規模						
生産量							
売上高							
経営規模							
生産量							
売上高							
経営規模							
生産量							
売上高							
経営規模							
生産量							
売上高							
その他()							
売上原価	期首商製品棚卸高						
	当期商品仕入高						
	当期製品製造原価						
	材料費						
	労務費						
	賃借料						
	その他経費						
	(減価償却)						
	期末商製品棚卸高						
売上総利益							
販売費・一般管理費							
	役員報酬						
	その他人件費						
	出荷販売経費						
	減価償却費						
営業利益							
営業外利益							
営業外費用							
	支払利息						
経常利益							
税引前当期利益							
法人税等充当額							
税引後当期利益							
償還財源							
償還金(元本)							
差引余剰							
施設・機械等の設備投資							
農業負債(短期)							
農業負債(長期)							
農外負債							
計							

参考(前々項の2(2)をご記入されるに当たり、耕種以外の営農類型の方はここにご記入ください。)

(酪農)

区分	単位	実績	目標	改善のための具体的方策	
経産牛1頭当り乳量	kg/頭				
乳価	円/kg				
乳飼比	%				
濃厚飼料総給与量	t/年				
濃厚飼料平均価格	円/kg				
粗飼料総給与量	t/円				

(肉用牛)

品種(該当品種に○)		和牛、F1		乳用種、和牛、F1		改善のための具体的方策
区分	単位	実績	目標	実績	目標	
素牛	導入頭数	頭/年				
	導入月齢	か月				
	導入価格	千円/頭				
販売牛	販売月齢	か月				
	販売体重	kg/頭				
	販売価格	千円/頭				
枝肉ランク	%	A4以上	A4以上	B2以上	B2以上	
濃厚飼料総給与量	t/年					
濃厚飼料平均価格	円/kg					
粗飼料総給与量	t/年					

(養豚)

区分	単位	実績		目標		改善のための具体的方策
種豚の品種		♂	♀	♂	♀	
母豚1頭当り年間産子数	頭/年					
母豚平均分娩回数	回/年					
販売子豚	出荷日令	日				
	出荷体重	kg				
肥育豚	出荷日令	日				
	出荷体重	kg				
上物率	%					
肥育豚販売手数料	円/頭					
飼料総給与量	t					
飼料要求率						

(採卵鶏)

区分	単位	実績		目標		改善のための具体的方策
鶏種		♂	♀	♂	♀	
導入ヒナ	日令	日				
	価格	円/羽				
年間導入羽数	千羽					
育成率	%					
淘汰方法						
産卵期間	か月					
飼料総給与量	t					
飼料要求率						
G.P.経費	円/kg					

(ブロイラー)

区分	単位	実績	目標	改善のための具体的方策
鶏種				
ヒナ購入価格	円/羽			
鶏舎延坪数	坪			
坪当たり常時飼養羽数	羽/坪			
餌付回数	回/年			
餌付羽数	千羽/年			
育成率	%			
出荷日令	日			
出荷体重	kg/羽			
飼料総給与量	t			
飼料要求率				

(別表)負債整理計画

【負債整理前】

区分	資金名	No.	当初借入額	借入年月	最終年月	償還方法	残高	金利	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目				
									元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金
農業短期計																															
農業長期計		1																													
		2																													
		3																													
		4																													
		5																													
		6																													
		7																													
		8																													
		9																													
		10																													
農業外計																															
総計A																															

融資機関が借入者から聞取りし、作成する。

【負債整理後】

区分	資金名	借入年月	最終年月	償還方法	残高	金利	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		備考	
							元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	金利		
農業短期計																												
農業長期計																												
農業外計																												
総計B																												
【差引軽減額】																												
総計A－総計B																												

注1「整理番号」欄は、負債整理前と負債整理後を照合するための整理番号であり、借入債務(証書等)毎に整理すること。

2 負債整理後については、農業経営負担軽減支援資金、経営体育成強化資金の「備考」欄に、負債整理の対象とした負債整理前の資金の整理番号を記入する。

別紙1の(4) (被災借入希望者関係)

添付書類により当該経営改善計画書記載事項が把握可能である場合には、その旨を記載すれば足りる。

経営改善計画書(個人)

農業協同組合
株式会社日本政策金融公庫 } 支店 等 御中

令和 年 月 日

住所

氏名

1 計画期間

令和 年度 ~ 令和 年度

2 家族構成等

家族従事者 (※農業後継者は、備考欄にその旨を記入)				
年齢	農業従事日数	農外従事日数	目標年の状況	備考
その他の家族(性別、年齢のみ) 男女(歳)、男女(歳)、男女(歳)、男女(歳)				

常時雇用	
	人/年

臨時雇用	
	人・日

3 経営の概要

経営規模	田	農 用 施 設	倉庫	家 畜	乳牛
	a (うち借地 a)		m ²		頭
	畑		畜舎		肉用牛
	a (うち借地 a)		m ²		頭
	樹園地		堆肥舎		豚
	a (うち借地 a)		m ²		頭
採草放牧地	サイロ	ブロイラー	羽		
a (うち借地 a)	m ²	ハウス	採卵鶏	羽	
			m ²		

(添付書類)

最近3か年の青色申告書、農協の組合員勘定等

4 財務内容(資産負債バランス)

資産			負債			
項目	金額		項目	金額		
預金(共済等の積立金)		千円	農業短期			千円
農協等の出資金		千円				千円
土地		千円	農業長期			千円
建物		千円				千円
家畜		千円	農外負債			千円
農機具・その他		千円	その他			千円
計	0	千円	計		0	千円

正味資産	0	千円
------	---	----

保証債務		千円
------	--	----

5 経営改善を図るための方策(経営上の課題を踏まえ、その改善方策を具体的に記載)

1年目	
2年目	
3年目	
4年目	
5年目	

6 事業・資金計画、償還計画(設備投資)

事業計画				資金調達					
投資時期	投資内容	数量・規模・能力	事業費(千円)	借入時期	借入先	資金名	金額(千円)	期間	
								償還	据置

7 資金計画、償還計画(負債借換等)

既往の負債					借換・条件緩和	
借入先	資金名	金額(千円)	利率	期間		借換又は条件緩和する場合の内容
				償還	据置	

8 収支計画、償還計画

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
売上(農業)					
経費	0	0	0	0	0
原材料費					
施設、機械費					
うち減価償却費					
出荷販売経費					
雇用労賃					
支払利息					
支払地代					
その他					
農業所得	0	0	0	0	0
農外所得					
年金被贈等					
農家総所得	0	0	0	0	0
家計費					
租税公課					
償還財源	0	0	0	0	0
償還金(元本)					
差引余剰	0	0	0	0	0

(注)金額は千円単位で記入してください。

1位部門()

	実績	計画
単収		
単価		
規模		
生産量		

2位部門()

	実績	計画
単収		
単価		
規模		
生産量		

3位部門()

	実績	計画
単収		
単価		
規模		
生産量		

(別表)負債整理計画
【負債整理前】

区分	資金名	No.	当初借入額	借入年月	最終年月	償還方法	残高	金利	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目			
									元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息
農業短期計																														
農業長期計		1																												
		2																												
		3																												
		4																												
		5																												
		6																												
		7																												
		8																												
		9																												
		10																												
農外計																														
総計A																														

【負債整理後】

区分	資金名	借入年月	最終年月	償還方法	残高	金利	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		備考	
							元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息		元金
農業短期計																												
農業長期計																												
農外計																												
総計B																												
【差引軽減額】																												
総計A－総計B																												

注1 「整理番号」欄は、負債整理前と負債整理後を照合するための整理番号であり、借入債務(証書等)毎に整理すること。
 2 負債整理後については、農業経営負担軽減支援資金、経営体育成強化資金の「備考」欄に、負債整理の対象とした負債整理前の資金の整理番号を記入する。

--

}

--	--	--

--	--

--	--

--	--

--	--

